

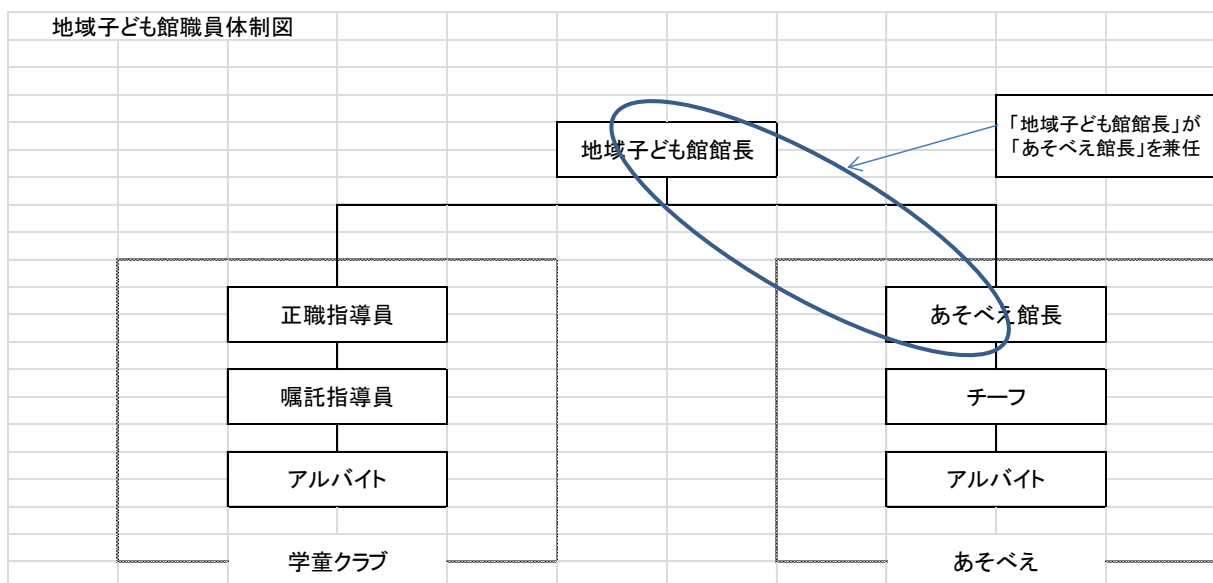
地域子ども館事業（学童クラブ・あそべえ）
～小学生の放課後の居場所を充実させます～

武蔵野市では、小学生の放課後の居場所として、市立小学校 12 校で学校施設を活用して 2 つの施設（学童クラブとあそべえ）を運営しています。

市内の小学校児童数の増加及び共働き世帯の増加とともに、学童クラブとあそべえを利用する児童数も増加しています。また、異学年・異年齢交流の促進や配慮の必要な児童への支援を高めていくため、職員のスキルの向上が必要となります。

武蔵野市では、平成 29 年 4 月から、両事業の連携強化により「地域子ども館事業」として、運営を武蔵野市子ども協会に委託し、職員体制を充実します。また、児童数の増加が見込まれる学童クラブの整備を進めます。

○職員体制の充実



○「地域子ども館館長」を配置して学童クラブとあそべえの連携を強化します

学童クラブとあそべえは、同じ学校の中にあります。別々に運営されており現地に両施設を統括する役割を担う職員がいませんでした。両施設の職員が協力して子どもへの支援を一体的に行うためには、両施設の連携を強化する必要があります。

そのために、従来の職員配置に加えて新たに児童施設の勤務経験豊かな地域子ども館館長を配置します。館長は、両施設の現場責任者として利用者である子どもや保護者の支援を行うとともに、学校や地域の関係者との窓口としての役割を担います。また両施設の職員のマネジメントを行います。

○あそべえの職員体制を強化します

あそべえは、現在、館長 1 名とアルバイト（教室 2 名、校庭 2 名、図書室 1 名）の体制で運営しています。館長が不在の時はアルバイトのみでの運営になるという課題がありました。

が、子ども協会への委託後は、「地域子ども館館長」が兼任するあそべえ館長とアルバイトに加えて嘱託職員の「チーフ」を配置して子どもひとりひとりの支援を強化するとともに、館長不在時にはチーフがあそべえ館長の役割を果たします。

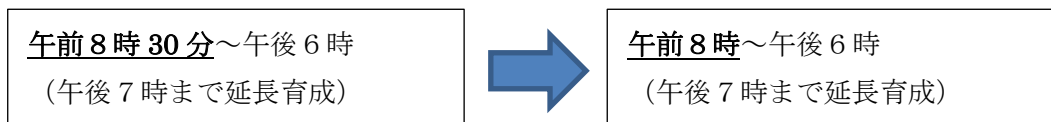
○学童クラブに正規職員を配置します

学童クラブは現在、非常勤職員による運営となっています。より安定した職員体制で、開所時間の延長等に対応するために子ども協会の委託後は、各クラブに2名以上の正規職員の配置を行い、現場での臨機応変な判断と対応をより推進します。

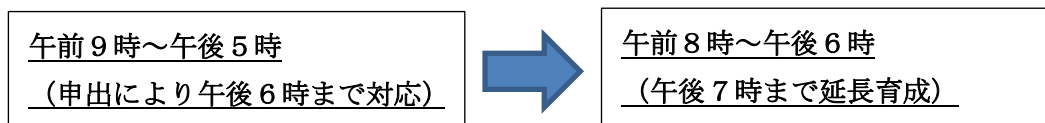
○学童クラブの学校休業日の開所時間を延長します

市内の学童クラブでは、平成28年度に月曜日から金曜日の夜7時までの延長育成を開始しました。平成29年度は、保護者から要望が多かった学校休業日の開所時間の延長を開始します。

★長期休業中の月曜日から金曜日の開所時間延長



★土曜日の開所時間延長



○学童クラブの整備を進めます

市内の学童クラブの入会児童数は、年間50名以上のペースで増えています。武蔵野市では市立小学校内に学童クラブを設置しています。待機児を出さないように教育委員会と連携してクラブ室の整備を進めます。

★平成28年度に整備した学童クラブ

- ①一小こどもクラブ (定員 60名→95名)
- ②千川こどもクラブ (定員 40名→65名)
- ③関前南こどもクラブ (定員 40名→70名)

★市立学童クラブの定員と入会児童数の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
定員	795	863	923	1013
児童数	791	849	907	939

*児童数は各年4月1日時点。平成29年度は2月1日時点